

パートナー企業



TOYOBQ
Beyond Horizons

TORAY

Focus Systems

プログラム

12:30
開場
13:00 - 13:45
開会挨拶・基調講演
13:45 - 14:30
プレゼンテーション (① - ③)
14:40 - 15:25
プレゼンテーション (④ - ⑥)
15:35 - 16:20
プレゼンテーション (⑦ - ⑨)
16:30 - 17:30
審査時間 第8回滋賀ジュニアリサーチグラント授与式
17:30 - 18:30
審査結果発表および表彰式
18:50 - 20:30
情報交換 (別会場)

第8回滋賀ジュニアリサーチグラント授与式

サイエンスとテクノロジーをベースとした次世代の産業創出のリーダーたる人材の育成を目指し、滋賀県内で研究活動に取り組む中高生を対象に、研究費助成および研究者による研究サポートプログラムを行ないます。今年度は「滋賀県内の中高生による自然科学またはものづくりに関する研究」を広く募集し、書類審査により助成採択チームを決定しました。授与式では、滋賀ジュニアリサーチグラントに採択された中高生研究チームに採択証を、滋賀県内研究機関に所属する研究コーチに任命証をそれぞれ授与します。



2024年 第7回滋賀ジュニアリサーチグラント授与式の様子

基調講演

研究から未来へ ——滋賀発・スタートアップ成長戦略とテックプランター活用の実例

長浜バイオ大学 教授 / 株式会社ノベルジェン 代表取締役 小倉 淳氏

長浜バイオ大学での研究成果をもとに、2019年10月「生物の力で地球と共生する新世代の社会」を掲げ株式会社ノベルジェンを設立。滋賀県や農水省の補助事業に採択され、着実に成果の創出と事業開発を推進している。2023年には旭有機材株式会社などと「AIRAS (ASAHI Innovative RAS) プロジェクト」を開始し、世界最高水準の閉鎖循環式養殖システムの実証と事業化を進めている。大阪・関西万博では微細藻類を活用した牡蠣の短期肥育システムを展示。



審査項目

- 1 新規性があるか
- 2 実現可能性があるか
- 3 世界を変える可能性があるか
- 4 事業に対するパッションがあるか

最優秀賞
賞金30万円

企業賞
賞金10万円

審査員による厳正なる審査によって、最優秀賞と企業賞を決定し、授与いたします。受賞結果については、グランプリ後に滋賀テックプランター2025のWebページにて公開を予定しています。

主催



滋賀発成長産業発掘・育成
コンソーシアム

滋賀県 / 滋賀大学 / 滋賀医科大学 / 滋賀県立大学
長浜バイオ大学 / びわこ成蹊スポーツ大学 / 立命館大学
龍谷大学 / 株式会社関西みらい銀行 / 株式会社滋賀銀行
公益財団法人滋賀県産業支援プラザ / 株式会社リバネス

お問い合わせ

滋賀県 商工観光労働部 イノベーション推進課 近未来技術・スタートアップ推進係 (担当: 中島) TEL: 077-528-3794
株式会社リバネス (担当: 岸本) TEL: 06-6125-5622

世界から滋賀へ
滋賀から世界へ

SHIGA TECH PLAN GRAND PRIX

研究開発型ベンチャー発掘・育成プログラム 第10回 滋賀テックプラングランプリ

滋賀テックプランターは、県内に拠点を置く理工系大学や第二創業を目指す企業等から“モノづくり”“水・環境”等の分野に関連したビジネスシーズを発掘し、メンタリングや専門家による相談機会の提供を通じて事業プランのブラッシュアップを行う取り組みです。
エントリーチームの中から、パートナー企業およびコンソーシアム構成機関による書類選考を経て9チームのファイナリストが選定されました。

1 プレゼンテーション

選考を勝ち抜いたファイナリストによるビジネスプランのプレゼンテーションをパートナー企業およびコンソーシアム構成機関が審査します

2 表彰式

最優秀賞および企業賞の発表

3 情報交換

ファイナリスト、審査員、パートナー企業、コンソーシアム構成機関、参加者による情報交換を行います

日時

2025年
7月26日(土)
13:00-18:20 (開場 12:30)

会場

しがぎんホール

〒520-0041 滋賀県大津市浜町1-38 滋賀銀行本店2階

主催: 滋賀発成長産業発掘・育成コンソーシアム 事務局: 滋賀県 / 株式会社リバネス

審査員



株式会社リバネス

代表取締役社長 COO

高橋 修一郎

審査委員長

設立時からリバネスに参画し、教材開発事業やアグリ事業の立ち上げを行う。大学院修了後は東京大学教員として研究活動続ける一方でリバネスの研究所を立ち上げ、研究開発事業の基盤を構築した。さらに独自の研究助成「リバネス研究費」のビジネスモデルを考案し、産業界・アカデミア・教育界を巻き込んだオープンイノベーション・プロジェクトを数多く仕掛ける。2010年より代表取締役役に就任。



公益財団法人滋賀県産業支援プラザ

常務理事

小川 栄司

1990年滋賀県入庁、工業技術センターにおいて、県内ものづくり企業への技術支援、企業や大学との共同研究開発等に従事。新産業振興課およびモノづくり振興課では、研究開発支援、地域産学官連携支援等に携わる。2017年モノづくり振興課長、2019年工業技術総合センター所長 兼) 商工観光労働部技監。2023年より現職。



京セラ株式会社

研究開発本部
要素技術研究開発統括部長

田中 政博

1997年に京セラ株式会社に入社、総合研究所へ所属。1998年より電磁場シミュレーション技術の開発及びシミュレーション技術を使った部品・デバイス設計に従事。2004年より京セラに材料シミュレーション技術を導入し、その後様々なセラミック材料の設計に従事。2014年より総合研究所基盤技術研究部、2024年からは基盤技術研究所を担当。2025年より要素技術研究開発統括部を担当し、現在に至る。



株式会社 SCREEN ホールディングス

執行役員 技術開発戦略本部
イノベーション推進担当

小久保 正彦

1990年大日本スクリーン製造入社。技術研究所で光学系技術開発、マスクレス露光装置開発に従事。2014年ホールディングス化後、SCREENホールディングスで第一・第二・第五技術開発室長を歴任。2023年イノベーション推進室長、2024年から執行役員イノベーション推進担当。



東レ株式会社

電子情報材料研究所 所長

奥田 良治

1996年東レ株式会社に入社し、電子情報材料研究所(大津市)にて、感光性絶縁コーティング剤の研究開発に従事。2008年新事業開発部門にて半導体向け材料の技術開発に従事。2014年に電子情報材料研究所に戻り、グループリーダーとして半導体向け感光性絶縁コーティング剤の研究開発を推進。2017年にエレクトロコーティング剤技術課長、技術開発、設備発案、事業拡大に尽力、2020年からエレコ技術部長。2024年から現職。



滋賀県

商工観光労働部長

岡田 暁人

2006年4月に総務省に入省以来、地域活性化、東日本大震災からの復興(復興庁)、災害対策(内閣府防災担当等)、国会対応の総括、公務員制度の企画立案などに従事。この間、熊本県庁、富山県高岡市役所、福岡県大刀洗町役場、さいたま市役所に出向し、各地域の活性化に携わる。2024年4月より滋賀県庁総務部管理監、2025年4月より現職。



株式会社関西みらい銀行

法人業務部
ベンチャー支援グループ グループリーダー

今井 良樹

1994年大和銀行(現りそな銀行)入社。2021年よりりそなグループの共同拠点である「ビジネスプラザおおさか」の所長に就任。ビジネスマッチング業務の他、産学連携や人材紹介業務、各種イベント開催等に携わり、りそなグループでの大阪・関西万博出展にも取り組む。2023年りそな銀行で支店長を経て、2025年4月関西みらい銀行法人業務部ベンチャー支援グループグループリーダーに着任し、地方創生、創業・ベンチャー支援などへ関わり、現在に至る。



株式会社滋賀銀行

営業統轄部
地域振興グループ担当部長

古藤 裕樹

1995年に滋賀銀行に入行。本店営業部、彦根、八幡などの支店で主に法人営業を担当。その後、4カ店の支店長を経て2025年に総合企画部新規事業担当部長に就任。2025年6月より営業統轄部 地域振興グループ担当部長就任。



東洋紡株式会社

コーポレート研究所 所長

中村 瑠奈

1992年大日本印刷株式会社(DNP)に入社、主にコーティング技術や成型技術を用いた機能性フィルムの製品開発に従事。開発部長や購買部長を務めた後、2019年東洋紡株式会社に入社。2021年堅田フィルム技術センター(大津市)に赴任、部長としてディスプレイ、電子部品等に使用される機能性フィルムの開発に従事。2025年コーポレート研究所長に就任、現在に至る。



株式会社フォーカスシステムズ

ITイノベーション事業本部
ストラテジックセールス統括部

中村 和人

1999年株式会社フォーカスシステムズ入社。インフラシステムエンジニアとして銀行他金融機関などのインフラ構築業務に携わる。2018年より同社新事業創造に取り組み、大学との共同研究、ベンチャー支援、自社製品を使用した実証実験などに関わる。直近では物流効率を向上させ、荷主のコスト低下、運送会社の稼働率・利益率向上、二酸化炭素排出量削減に貢献するシステム開発を、ベンチャー企業と協調し推進中。

ファイナリスト



1 株式会社Spacewasp

田寺 将樹

地球上のあらゆる植物から 未来の新たな内装のインフラを構築する

様々な産業から排出される植物廃棄物から植物由来の内装空間(内装、家具、建材)を製造・販売する企業です。作れる人がいない内装業界において、自動で空間を作る仕組みと、何度も作り変えられる循環型内装で、未来の新たな内装インフラを創出し、ホテル・オフィス・店舗等の内装が必須な事業者の内装空間を提供します。



4 株式会社虫秘茶

丸岡 毅

耕作放棄地を活用した「虫のフンのお茶」 生産モデルの実証実験

本試作開発では、耕作放棄地に自生・(半)野生化している在来植物を活用し、それらを特定の昆虫に食べさせて得られる糞を原料とする新規飲料「虫のフンのお茶(虫秘茶)」の生産モデルの実証を行う。実施地域は滋賀県内の耕作放棄地とし、飼育対象となる昆虫は、大型カブトムシとする。

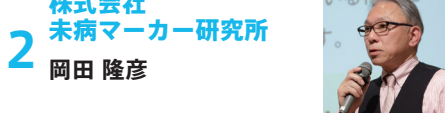
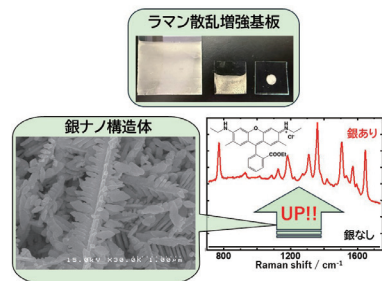


7 パツとSERS

滋賀県立大学 田中 康暉

だれでも！どこでも！かんたん！ ラマン散乱増強基板

毒物等の検出方法として利用されている「ラマン分光法」はその感度が低いことから測定に制限があり実用性が低いことが課題である。そこで、電解めっき法で銀ナノ構造体を作製することで、ラマン散乱分光法の高感度化が可能となった。



2 株式会社 未病マーカー研究所

岡田 隆彦

手の平サイズの尿検査器で ヘルスケアの新概念の構築

少子高齢化が急伸する我国において健康寿命の延伸が注目されている。健康は自らの努力でつかみ取るものであり、弊社は健康に深く関係する腸内環境を尿検査により数値化し、見える化すると共に、被験者の生活行動を分析し将来の不健康リスクを軽減するデータを社会に提供することをテーマとします。



5 ディナレッジ株式会社

柴坂 仁志

AI技術活用による 「配送割り振り・ルートの自動最適化」

AIと階層的クラスタリング手法で配送ルートを自動最適化し、CO₂排出削減と物流資源効率化を実現するアプリケーションの開発



8 Memorial Compass

滋賀医科大学 松山 峻大

AIを用いて、認知機能が低下した 患者さんの意思疎通を支援する

認知機能が低下した患者さんの会話のつまずきや、思い出したい内容が言葉として出てこない課題に対して、AIを用いてリアルタイムで会話支援・記憶想起支援するシステムを開発し、認知症に罹患する前の早期支援に利用する。



3 TSTジャパン株式会社

古田 兼三

環境IoTセンサー(雨量と積雪)DX化で 社会課題解決

様々な環境センサーが普及しているが、簡単な設置+正確+安価な積雪計と雨量計がない。電源工事、設置基礎工事が不要なIoTデバイスで、観測地点を大幅に増やし細かな地域単位で実雨量、積雪を遠隔監視する。

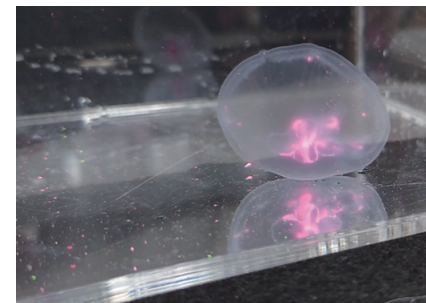


6 JellyClean

長浜バイオ大学 清水 正宏

クラゲと築く海洋ゴミ回収生態系

ミズクラゲの自然な遊泳・摂餌行動を活かし、クラゲ自身に負担をかけずにマイクロプラスチックを回収する共生型の海洋浄化手法である。



9 勾玉形風車の社会実装

立命館大学 吉岡 修哉

勾玉形(まがたまがた)風車が実現する 屋根上での風力発電

勾玉形(まがたまがた)風車を用いて、発電用風車の設置場所として手つかずの市場である「屋根上」を活用する風力発電事業を行う。勾玉型風車は従来の風車よりも小型で効率的に発電できるため、これを実現できる。

